

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	下水道工務課	評価者 (課長)	丸山勝	評価責任者 (部長)	川崎和範			
事務事業コード	事務事業名	浸水対策事業	事業の分類	(施設等整備事業)	補助・単独の別	補助	会計名	12下水道事業会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	V 環境共生	節(まちの姿)	V2 快適な生活環境で暮らせる	実施計画	○
	基本施策	V22 下水道の整備・充実	基本方向	下水道施設の効率的・効果的な整備や維持管理を図るとともに、下水道経営の基盤強化に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 雨水対策の充実			【下水道・排水設備の整備】	65.80%
	推進施策の展開	雨水路、ポンプ場等の整備を図るとともに、河川事業等との連携を図りながら、雨水の排出抑制等について検討を行い、雨水対策の充実に努めます。			25年度市民評価の満足度	
		【下水道・排水設備の整備】	65.50%			
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 浸水対策地域内の市民	意図(どういう状態にしたい): ・徳山駅ロータリー、地下道及び周辺商店等の浸水被害を解消、軽減する。 ・富田西部区画整理内の雨水管渠を新設整備し、土地、家屋等の浸水被害を解消、軽減する。 ・新地ポンプ場までの雨水管渠を整備し、土地、家屋等の浸水被害を解消、軽減する。	事業の内容 (手段)	・周南市の玄関口である徳山駅前の豪雨時の浸水解消を図るため、雨水管渠の増強を実施、県道に路面排水の取水柵を設置し、増強した雨水管渠に速やかに雨水を排除する。 ・近年増加の傾向にある豪雨に備え、市街地の浸水解消を図るため、区画整理事業などの他事業と連携を図りながら、雨水管渠やポンプ場の効率的な整備に取り組む。 ・新地雨水ポンプ場までの雨水函渠整備が遅れているため、用地買収及び家屋補償を行い雨水管渠の効率的な整備に取り組む。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	・徳山駅前浸水対策事業:徳山駅北口に雨水取水柵の設置、徳山駅南口に雨水函渠の布設を行う。 ・区画整理(富田西部)内浸水対策事業:中溝雨水幹線函渠築造工事を実施し雨水函渠の布設を行う。 ・南新地浸水対策事業:雨水函渠布設に伴う用地の測量、建物移設補償の調査を実施する。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)		
	直接事業費	千円	398,600	197,000	227,500	632,324		296,000								
事業目標	目標名	都市浸水対策達成率	計算式	雨水整備済み区域面積/都市浸水対策整備対象面積×100	単位	%	(予算額)	うち一財	千円							
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	352,188	94,148		対27年度増減理由	対28年度増減理由			
	目標値	28.1	28.1	28.1	28.1	28.1	(決算額)	うち一財	千円			浸水対策事業の施工量の増減による。	浸水対策事業の施工量の増減による。			
	実績値	20.9	20.9	21.0			正職員人件費	千円	21,975	45,110						
	達成度(%)	74.4%	74.4%	74.7%			人工数	人	3.00	6.10	6.10					
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否					
	① 徳山駅前浸水対策事業 (施設等整備事業)		徳山駅前の浸水対策事業	徳山駅前の豪雨時の浸水解消を図る。	徳山駅北口に雨水の取水柵を設置、南口にはH26年度から3年計画で雨水函渠を布設し、雨水の排水能力を増強する。	徳山駅北口に雨水の取水柵を設置した。徳山駅南口には雨水函渠を布設した。	正職員	1.8	臨時等	0	直接事業費	58,154	委託	可	臨時嘱託	否
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 なし。				A		改善案		なし。					
	② 区画整理(富田西部)内浸水対策事業 (施設等整備事業)		区画整理(富田西部)内の浸水対策事業	富田西部区画整理地内の浸水解消を図る。	富田西部区画整理事業の進捗に合わせて、雨水函渠を布設する。	雨水函渠の布設は堰の撤去交渉が進まず、施工予定量を下回った。JR横断部の実施設計は、JRの都合により進まなかった。	正職員	2.1	臨時等	0	直接事業費	34,690	委託	可	臨時嘱託	否
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 雨水函渠の布設は堰の撤去交渉の難航のため遅れている。また、JR線横断の実施設計は、JRの山陰水害対応のため協定締結が遅れている。				B		改善案		堰の撤去交渉の関係者が変更になったため、早急に交渉相手を確定し、交渉を再開する。JR横断部の交渉は基本事項の協議は終了していることから、協定締結に向け進める。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト	委託等の可否	
	③	南新地浸水対策事業 (施設等整備事業)	南新地の浸水対策事業	南新地地内の浸水解消を図る。	既設の新地ポンプ場への雨水函渠を布設することで、ポンプ場の排水能力を高める。	雨水函渠布設箇所への用地買収及び家屋補償が進まなかったため、雨水管渠の布設ができなかった。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
							2.2	0	1,306	可	否	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 雨水函渠布設箇所への用地買収及び家屋補償が進まなかったため、雨水管渠の布設が遅れている。				細事業評価	B	改善案	用地買収及び家屋補償の交渉は基本事項は終了していることから、早急に補償契約の締結を進める。			
	④											
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価		改善案				

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	事業全体の課題・問題点	指摘事項に対する改善状況
	<ul style="list-style-type: none"> 徳山駅前浸水対策事業:なし。 区画整理(富田西部)内浸水対策事業:堰の撤去交渉の関係者が変更になった。 南新地浸水対策事業:なし。 			なし。
	<ul style="list-style-type: none"> 徳山駅前浸水対策事業:なし。 区画整理(富田西部)内浸水対策事業:雨水函渠の布設は堰の撤去交渉が難航し遅れている。また、JR線横断の実施設計は、JRの山陰水害対応のため協定締結が遅れている。 南新地浸水対策事業:雨水函渠布設箇所への用地買収及び家屋補償が進まなかったため、雨水管渠の布設が遅れている。 			雨水函渠の布設は、事前に関連事業(区画整理事業)との進捗協議、堰の撤去交渉、JR西日本との協定締結、用地買収及び家屋補償協議といった関係機関及び関係者との協議・調整を行いながら行っている。そのような業務に精通した職員が少ないため、業務の遂行に苦慮している。

所管課評価				
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由 浸水対策事業は膨大な費用と時間が必要となる。また、複数事業を同時に進行している。そのため、3M(人、物、金)を選択と集中しておこなうための見直しが必要となる。	改善案 徳山駅前浸水対策事業を優先することを選択し、3Mを集中することにより早期の事業完成を目指す。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 安全、安心のまちづくりの観点から、今後も優先順位を定め計画的に実施すること。また必要な事業の財源については、一般会計と十分協議し、財源の確保に努めること。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	600507
分野	6都市基盤
基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実
推進施策	(7)雨水排除施設の整備

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
平成28年度は区画整理内(富田西部)内浸水対策事業において、JR軌道内及び県道海岸線の雨水函渠横断の関係諸機関との調整が整ったので工事に着手する。そのため、浸水対策事業のうち、区画整理(富田西部)内浸水対策事業に3M(人、物、金)を選択と集中しておこなう。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	下水道工務課	評価者 (課長)	丸山勝	評価責任者 (部長)	川崎和範			
事務事業コード	事務事業名	下水道施設適正管理事業	事業の分類	(施設等管理運営事業)	補助・単独の別	補助	会計名	12下水道事業会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	V 環境共生	節(まちの姿)	V2 快適な生活環境で暮らせる	実施計画	○
	基本施策	V22 下水道の整備・充実	基本方向	下水道施設の効率的・効果的な整備や維持管理を図るとともに、下水道経営の基盤強化に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)下水道施設の資産管理			【下水道・排水設備の整備】	65.80%
	推進施策の展開	施設の点検、診断、延命化を含めた維持管理・改築更新を体系的に捉えた下水道長寿命化計画を策定し、施設の改築を進めます。			25年度市民評価の満足度	【下水道・排水設備の整備】
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 老朽化した下水道汚水管渠	意図(どういう状態にしたい): 今後、老朽化した下水道汚水管渠の維持管理費の増大に対応するため、効率的・経済的な運営システムに移行する。	事業の内容 (手段)	老朽化が進む下水道汚水管渠の長寿命化計画を策定し、計画に基づき国庫補助金事業として経済的及び効率的に管更生または布設替を実施する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	下水道汚水管渠の長寿命化計画に基づき公共下水道管路施設改築実施設計を作成した。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
								直接事業費	千円	20,000	38,000	60,000	70,000	50,000
事業目標	目標名	管更生施工済み延長(H31年度目標)	計算式	達成項目/目標項目	単位	km	(予算額)	うち一財	千円					
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	10,290	15,124		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	(決算額)	うち一財	千円			事業量の増減による。	事業量の増減による。	
	実績値	1.8	1.8	1.98					人工数	人	1.00	3.40	3.40	
	達成度(%)	46.2%	46.2%	50.8%			支出コスト	千円	決) 17,615	決見) 40,267				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①		下水道施設適正管理事業 (施設等管理運営事業)	下水道施設(下水道汚水管渠)	経済的、効率的に適正管理する。	長寿命化計画を策定し計画に基づき国庫補助金事業で更生・布設替を施工する。	長寿命化計画に基づき下水道汚水管渠の管更生工事を実施した。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
								3.4	0.2	15,124	可	否		
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 なし。				細事業評価							
②														
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価								

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	事業全体の課題・問題点	指摘事項に対する改善状況
	下水道施設の老朽化が進んでいる。		なし。	なし。
	細事業の課題・問題点	公共下水道管渠は長寿命化計画を策定し、管更生、布設替えを進めているが、一方でマンホールポンプの老朽化が進んでいる。マンホールポンプの長寿命化計画を早急に策定し、国庫補助事業として更新する必要がある。	左記の「細事業の課題・問題点」と同じ。	

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	公共下水道管渠の長寿命化計画を策定し、計画の基づき管渠の更新・布設替えを実施している。	改善案	

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 長寿命化計画を策定し、優先順位を定め着実に実施していくこと。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	600502
分野	6都市基盤
基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実
推進施策	(2)上下水道施設の長寿命化・耐震化

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
平成27年度までは、各施設ごとを対象に長寿命化計画を策定し、管更生及び改築を実施してきた。平成28年度からは国の指針に沿って施設全体を対象にストックマネジメントを策定し、一層効率的な資産管理を行うこととした。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	下水道工務課	評価者 (課長)	丸山勝	評価責任者 (部長)	川崎和範			
事務事業コード	事務事業名	汚水処理施設整備事業	事業の分類	(施設等整備事業)	補助・単独の別	補助	会計名	12下水道事業会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	V 環境共生	節(まちの姿)	V2 快適な生活環境で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	V22 下水道の整備・充実	基本方向	下水道施設の効率的・効果的な整備や維持管理を図るとともに、下水道経営の基盤強化に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2)汚水処理施設の整備			【下水道・排水設備の整備】	65.80%
	推進施策の展開	人口減少等の社会情勢の変化を踏まえ、下水道、集落排水施設、合併処理浄化槽など、地域の実情に応じた効率的な汚水処理施設の整備を推進し、未整備地区の解消など汚水処理人口普及率の向上に努めます。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 公共下水道の整備困難地域の市民	意図(どういう状態にしたい): 早期に水洗化を行い、生活環境及び周辺環境を改善する。	事業の内容 (手段)	下水道事業計画区域における整備困難地域の整備方針を策定し、整備方針に定められた優先順位の高い用途地域内から整備を進める。 優先順位の低い用途地域外は下水道事業計画区域から削除し浄化槽で水洗化を進める。	【下水道・排水設備の整備】	65.50%

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	H25年度に地元同意の得られた鹿野地域(天子地区)を下水道事業計画地域から削除した。 また、整備困難地域の整備方針を策定し、整備方針に基づき下水道事業計画区域から鹿野地域の一部(柏原地区、堤地区)の説明会を開催し削除の地元同意が得られた。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	直接事業費	千円	0	29,500	20,000	99,000		0							
事業目標	目標名	汚水処理人口普及率	計算式	処理対象区域人口/住民基本台帳人口*100	単位	%	事業費	(予算額) うち一財	千円						
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	8,568	0			対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0		(決算額) うち一財	千円					事業量の増減による。	事業量の増減による。
	実績値	94.2	94.7	95.8				正職員人件費	千円	14,650	19,967				
	達成度(%)	101.3%	101.8%	103.0%				人工数	人	2.00	2.70	2.70			
								支出コスト	千円	決) 23,218	決見) 19,967				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数	コスト	委託等の可否						
	①	汚水処理施設整備事業 (施設等整備事業)	整備困難地域の市民	早期の水洗化を進める。	整備困難地域の下水道整備方針を策定し、方針に基づき鹿野地域の一部(柏原地区、堤地区)を計画区域から削除する。	整備困難地域の下水道整備方針を策定した。方針に基づき柏原地区、堤地区で説明会を開催し計画区域から削除の同意が得られた。	正職員 2.7	臨時等 0	直接事業費 0	委託 可	臨時嘱託 否				
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他						細事業評価								
	細事業の課題	整備困難地域の下水道整備方針を策定したが、用途地域内の整備困難地域の下水道管渠の布設計画を策定し、効率的整備を進める必要がある。						B	改善案	用途地域内の整備困難地域の下水道管渠布設計画を策定し、効率的に整備を進める。					
②															
細事業の課題	なし。							改善案							
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価									

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	下水道施設の老朽化が年々増大し、管更生、布設替えの経費が年々増大することが予測される。	前年度までの指摘事項	なし。	指摘事項に対する改善状況	なし。
	細事業の課題・問題点	整備困難地域の下水道整備方針を策定したが、用途地域内の整備困難地域の下水道管渠の布設計画を策定し効率的に整備を進める必要がある。	事業全体の課題・問題点	左記の「細事業の課題・問題点」と同じ。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	合併から10年が経過し、合併前の各自治体の整備方針で整備してきたが、統一的な整備方針を策定した。しかし、効率的に進めるため布設計画が必要となっている。	改善案	今後、公共下水道管渠の布設計画を策定し、効率的に整備を進める。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 事業規模に(収入)に見合った事業運営が基本である。公共性と企業性の両立の観点から、計画の策定にあたっては、財政課と十分協議すること。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	600506
分野	6都市基盤
基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実
推進施策	(6)汚水処理施設の整備

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
国は、今後、10年間で公共下水道の整備を終了する「10年概成」を推進している。「10年概成」以降は、公共下水道の整備に国庫補助金が支出されないことが予想されることから、国庫補助金の対象となる処理困難地区の整備を積極的に進める。

備考